

# 北の経営者に聞く!!第2弾は「プレイランドハッピー」の新和グループ

# 新井修社長



青山千景がリーダー直撃  
21世紀のブロンディニア

第2回は、パチンコ店「プレイランドハッピー」で知られる新和グループの新井修社長(61)に聞く。業界のイメージ改革に務めてきた経営者は、社を成功へと導いた秘話などを披露。そして引退の時期も初めて明かしてくれた。(次回は5月12日掲載予定)

### ◆人材育成が要

創業から64年。続けられる秘けつは? 「幼少期から両親、同業の先輩の苦勞や失敗を数多く見聞きし、それら全てが身に染み付いた。どんなに事業が順調でも常にこれらの事例を思い出し、無理をしない、身の丈にあった堅実な経営を心掛けてきた。その結果が今につながっているのではないかと思う」

今後の目標は? 「会社を任せられる人材を数多く育て、70歳で社長を引退しよう」と決めている。人材育成は経営の重要施策として力を入れてきた。今後は育成スピードを上げて、あした

を期待できる人材に経営ノウハウなどを愛情をもつて厳しく教えていきたい」

「33年前、当時の拓銀(北海道拓殖銀行)支店長から、自分が拓銀を退職しても絶対この業界と新和では働かない」と言われたこと。業界と当社のタマなところを数多く指摘された。当社1社の力で業界を変えるのは難しいが、新和だけは違うと言われることは可能だと思ひ、いろいろな点を改善し続けている」

そして、業界のイメージを変えていった。昔はパチンコ台の方

# イメージ

## 「絶対この業界と新和では働かない」33年前の拓銀支店長の一言が転機



### ◆新卒にも「志」

と言っようにしよう」と心に決めた

「それは機会にマナー講師による教育を行い、北海道で初めて「いらっしやいませ」の徹底、今日に至っている。そして今、道内初、全国でも先駆けとなった新卒募集(93年から)で集まった多くの社員が、その志を引き継いでいる」

北海道の企業として北海道のために考えていることは、

### ◆お客様目線”でパチンコ業界刷新

「北海道で生まれ育ったから、北海道のために何ができるかという思いは年を取るに連れて大きくなる。札幌医科大学付



座右の銘を書いた色紙を手に笑顔を見せる新井社長

### ◆ハッピーは孫

社長にとって「ハッピー」とは? 「孫と遊んでいる時間が一番ハッピーだ。孫は仕事で疲れ切った私を癒やしてくれる最高の宝物だ」

孫の話をするときには本当に楽しそうですね。

「うん。孫の誕生記念として、庭にぶどうの木を植樹した。また、生まれた年に作られた孫(同じ名前)のシャトーワインを6本購入。1本は20歳のお祝い、1本は結婚したとき、1本は子供が生まれたとき、1本は還暦のときに飲んでほしいから。残り2本は好きなときに飲んでほしいから」と思っていたのに、つい私が飲んでしまったがね(笑)」

◆新井 修(あらい・おさむ) 1954年(昭29)1月4日、当別町生まれ。78年に日大卒業後、新和に入社。97年、社長就任。お薦めの場所は世界最大のパワースポットと言われるセドナ(アリゾナ州)。「何度行っても体感じる」という。楽しみは週1回のサウナ。

◆新和グループ 本社・札幌市中央区北5条西6丁目2番地2 札幌センタービル25階。資本金2億2000万円。売上高は1503億円(2014年10月期連結ベース)。2014年12月にオープンした南6条店など道内に21店舗を展開している。

◆青山 千景(あおやま・ちかげ) 1986年(昭61)1月17日、札幌生まれ。北海学園大卒。中学時代からタレントとして活動し00年CMデビュー。07年度ミスさっぽろ。TV「旅コミ北海道」にリポーターとして出演中。姉の夕香と接客マナー講師として企業研修も務めるなど、マルチタレントとして活躍。

インタビュー後、記念撮影する新井社長(左)と青山